

第27回カモメ・わくわく倶楽部リフト付バスで行く日帰りツアー

初めての山陰「鳥取砂丘 & 梨狩り」

去る9月11日(土)、第27回カモメ・わくわく倶楽部リフト付バスで行く日帰りツアー「鳥取砂丘と梨狩り」を開催しました。今回はわくわく初めての「山陰の旅」。中型バスで行く企画をしたため、固定の車いす台数がすぐに満席になり、折角お申込みしていただいたのにお断りしなくてはならない嬉しい状況でした。しかし、お申込みしていただいてもご病気で不参加なされた方もおられ、添乗員の海鷗トラベル 行澤さんを含めて18名で、「旅交房」という会社のリフト付観光バスで、残暑の中、森ノ宮を出発しました。

＜当日の旅行コース＞

9:00 森之宮 ⇒ 13:00 砂丘会館(昼食と砂丘見学) 14:30 ⇒ 梨狩り
⇒ 20:00 森之宮

鳥取砂丘

バスはほぼ予定通りの時間に森ノ宮を出発し、途中トイレ休憩を挟んで、長いバス旅でした。

到着後、『砂丘会館』の方が席まで案内してくれ、昼食を食べました。時期的に早いので冷凍物と思いますが、カニを材料にご飯やお吸い物、蒸し物等があり、さすが山陰と思いました。そして、参加者の中ではお酒を注文する方もいて、和気藹々とした雰囲気でした。

レストランには団体観光客が多かったのですが、到着時間がずれたため、団体客が食べ終えた頃になり、割と空いていて落ち着いて食べられました。

昼食後、フリータイムで各自それぞれ楽しみました。

鳥取砂丘に行く道は車いすでも行けるように木製のスロープができていて、砂丘の上まで行けましたが、砂地なのでそれ以上車いすで進む事が不



<砂丘にて>

可能でした。以前、わくわくで神戸の須磨に行った際、砂浜でも楽に移動ができる「ランディーズ」をシーパル須磨でお借りして砂浜を散歩しました。そういったものがあれば車いすの方でも砂丘をもっと楽しめるのに、と思いました。砂丘の上から眺望すると、遊覧馬車や駱駝による遊覧もあり、まるで童謡の「月の砂漠」でした。でも、はるかに青い日本海が見え、私がイメージした砂丘と狭く感じました。

砂丘ジオパークでは、砂丘になる過程を知るパネル展示や山陰海岸の砂の展示等がありました。でも参加者の中には、時間がなかったので砂丘見学をしなかった方もおられました。

梨狩り

砂丘からバスで10分足らずで梨狩りの果実園に到着。バスの中で園の担当者から梨の採り方を教わり、園内に入りました。梨狩りをする場所まで急勾配の坂道で、園の若者達が車いすを押して上がってくれ、梨狩りをスタートしました。梨は採っても皮を剥かなければならないので、仲間に剥いてもらったりして食べました。今年は猛暑のせいか小振りで、精々1個か2個を食べたら満腹になり、1時間ぐらいでバスに乗り込みました。お土産に梨を買って帰られる方もおられました。



帰路は、恒例になったビンゴゲームを事務局員が手伝って盛り上がりましたが、今回は、行澤さんが用意していただいた景品の中に、何度かバスツアーにご参加いただいている方が韓国旅行なされた時の土産も景品に使わせていただきました。この場を借りてその方にお礼申し上げます。有難うございました。

予定していたより2時間超過して20時に森の宮に到着しました。